

令和6年9月

アナログ無線を利用した RTK 方式の検定の中止について

標記について、令和6年12月1日以降、アナログ方式の簡易無線局（350MHz及び400MHz帯）の利用が禁止されるため、GNSS受信機のアナログ無線通信を利用したRTK方式の検定を中止いたします。

ただし、通信方式をデジタル通信方式に変更することにより、GNSS受信機は12月1日以降も使用可能であるため、11月29日（金）までは、アナログ無線通信を利用したRTK方式の検定は実施いたします。

アナログ簡易無線局の使用期限（お知らせ）

- アナログ簡易無線局（アナログ方式の周波数を使用する350MHz及び400MHz帯の簡易無線局）の周波数の使用期限は令和6年（2024年）11月30日までとなっております。
（令和3年（2021年）9月1日の制度改正により、周波数の使用期限が延長されました。）
- ただし、令和3年9月1日以降はアナログ簡易無線局は「再免許」するものに限られ、「新設（新たにアナログ簡易無線局を開設すること）」は原則として認められません。

●アナログ方式の簡易無線局の場合の対応

アナログ方式の周波数の使用は、令和6年11月30日までとなり、使用期限までに無線局を廃止するか、使用期限以降において、引き続き簡易無線局を使用する場合には、デジタル方式の簡易無線局に買換え等が必要となります。

●アナログ／デジタルのデュアル方式の簡易無線局の場合の対応

アナログ方式の周波数及びデジタル方式の周波数を使用可能なデュアル方式の簡易無線局についても、アナログ方式の周波数の使用は、令和6年11月30日までとなります。

このため、アナログ方式の周波数が発射できないように、令和6年11月30日までに簡易無線局の製造メーカー等で無線設備の改修を行っていただく必要があります。

- アナログ無線設備からデジタル無線設備へ変更する場合やアナログ方式の周波数の停波措置を行った場合には、無線局の変更申請等が必要となります。

詳しくは、電波利用ホームページの「[簡易無線局のデジタル化について](https://www.tele.soumu.go.jp/j/ref/relate/dcr/index.htm)」をご覧ください。
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/ref/relate/dcr/index.htm>



総務省総合通信基盤局

総務省総合通信基盤局 HP より